

協和中学校区の義務教育学校に関する保護者説明会 要旨

1. 開催概要

(1) 日時

令和7年6月24日(火) 午後7時～午後8時10分

令和7年6月25日(水) 午後7時～午後8時5分

(2) 場所

協和コミュニティセンター 総合ホール

(3) 参加人数(人)

学校等	協和中学校	古里小学校	新治小学校	小栗小学校	未就学	計
6月24日(火)	1	3	9	3	18	34
6月25日(水)	1	3	11	0	9	24
合計	2	6	20	3	27	58

※お子様が複数いる場合は、一番下のお子様の学校等で集計。

2. 説明内容

(1) これまでの検討内容について

(2) 基本構想・基本計画(案)について

3. 質疑応答

(1) 6月24日(火)

参加者： 今後、検討事項の進捗については、市のホームページ等でお知らせするとの説明があったが、今回のような説明会は開催しないのか。

事務局： 必要に応じて開催を検討するが、今のところ次の開催予定はなく、この後は設計に入る。市ホームページへの掲載のほか、Q&Aの2-⑭のとおり、準備委員会だよりを配布し、地域の方に広く周知する予定。

参加者： 開校まであと5年くらいかかる。市内では、明野五葉学園の前例があるが、桜川市でも真壁学園は先に統合した桃山学園とさらに統合する。そういった学校とは情報共有や交流はあるのか。

事務局： 準備委員会には、小中学校の教職員で構成される学校運営部会があり、その中には義務教育学校での勤務経験がある教職員もいるので、情報共有を図っていく。

準備委員会での先進地視察も、必要に応じて、委員と協議しながら検討する。

参加者： 閉校した後の小学校について、明野だと草が伸びっぱなしになっていて、体育館も使えなくなると聞いている。協和の小学校も同じようにならないでほしい。対策は考えているか。

事務局： Q&Aの6-①のとおり、閉校後の利活用を検討していくが、借地がある場合は、その返還を優先することとしている。協和地区では、古里小と新治小は借地があるため、返還を優先する予定である。

維持管理については、予算や人手不足もあり、手が回っていないのが現状である。

なお、明野地区の小学校については、閉校した5校のうち、1校は借地があるため取り壊して返還予定。1つは利活用が決まっており、来年4月に通信制高校が開校する予定。残りの3校についても、利活用が図られるよう進める予定。

参加者： 自分の子供は、今未就学で、この計画であれば、小学校の途中で統合することになる。その場合、先生や環境が大きく変わってしまうことが心配。教員配置に配慮はあるのか。

事務局： 明野五葉学園のときも、指導課や準備委員会の学校運営部会で協議・検討を行い、準備を行った。可能な範囲ではあるが、同じように子供たちの影響に配慮した体制を整える予定。

(2) 6月25日(水)

参加者： 基本計画・基本構想の詳しい内容は、どこかで見られるか。

事務局： 今回説明したものは案の段階であるため、どこにも掲載等はしていない。

参加者： 普通教室の数や特別教室をどのように使うかなどはこれからということか。

事務局： そのとおり。

参加者： 義務教育学校として進めていくということかと思うが、アンケートの結果をみると僅差である。これから、予算や議会などハードルがあると思う。結城で取りやめになった事例もあり心配。市として合意は得られているのか。

事務局： Q&Aの2-⑤のとおり、市としては義務教育学校を設置する方向性で検討を進めていくこととなった。地域の皆さんとの合意を図るため、今回説明会を開催させていただいた。ご質問のとおり、これから学校設置の条例改正や予算を議会に諮ることになる。必要に応じて全員協議会等で丁寧に説明をして理解を得たいと考えている。

参加者： 閉校施設の利活用は、これから検討するのか。

事務局： Q&Aの6-①のとおり、閉校後の利活用を検討していくが、借地がある場合は、その返還を優先することとしている。協和では、古里小と新治小に借地があるため、返還する予定である。

小栗小については、今後市内での利活用を検討していく予定。

参加者： 現在放課後児童クラブを利用している。明野五葉学園のように放課後児童クラブが新設されるかどうかはいつわかるのか。

事務局： 放課後児童クラブについては、所管が教育委員会ではなく、こども部となっている。こども部とも相談しながら進めているが、現時点では、Q&Aの6-②、③のとおり、これから検討していくため、明確にいつになるかは答えられない。今後もこども部と連携して進めていく。

参加者： 各地区に小学校があることで、学校を中心とした地域のつながりがあった。小学校が閉校し、子供がいなくなり、校舎が荒れれば、地域がさみしくなる。つながりがなくなり、生活しにくくなることがないか心配。直接学校のことはではないが、そういった地域についても考慮してほしい。

事務局： 閉校後の利活用については、これまで閉校した下館北中と明野の5つの小学校のうち、下館北中は今年度4月から四谷学院高等学校として活用されており、上野小についても来年4月開校予定で通信制高校としての利活用が決まっている。

難しい課題ではあるが、協和地区についても利活用を進めていきたい。

参加者： 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の導入については、どう考えているか。市内では、下館小で導入すると聞いている。筑西市には地域の力があると思う。協和地区の義務教育学校の構想にも入れてもらえればと思う。

事務局： まずは下館小で今年度導入を進めている。今後、下館小をモデル校として、他の学校でも進めていきたいと考えている。